

国際学生EVデザインコンテスト2019

記者発表会 式次第



<内容>	<時間>
ご挨拶：横川会長	10分
コンテスト説明：山下理事	20分
記念パネルディスカッション	45分
記念講演：日野自動車 松山様	30分
全体まとめ：田嶋代表理事	5分
フォトセッション	5分

2019年1月25日(金) 13時30分~15時30分
東京大学 情報学環 福武ホール ラーニングシアター

主催 一般社団法人 電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles



国際学生EVデザインコンテスト 2019 説明

EVデザインコンテスト実行委員会
委員長 山下 敏男 (APEV理事)

2019年1月25日(金)
東京大学 情報学環 福武ホール
ラーニングシアター

2019年2月4日Web掲載

2019

DESIGN CONTEST



The 4th EV Mobility Design Contest for International Students 2019



「ゼロエミッションEVの可能性を最大限に活用した
未来のモビリティとその社会とのかかわりのデザイン提案」

To propose a design of the future mobility
which maximize the potential of zero-emission EV
and to show the ways how such future mobility will be involved in the society.

Association for the
Promotion of Electric Vehicles

一般社団法人 電気自動車普及協会（以下APEV）では2013年から東京モーターショーの開催に合わせ「国際学生EVデザインコンテスト」を実施して参りました。

2017年から対象を『EV全般』へ変更し、次世代を担う若者の育成を主目的とし、デザインの持つ創造力・企画力を遺憾無く発揮する事により、モビリティ社会の将来のあり方や環境への新しい取り組みを世界に向けて発信して行きたいと考えております。

企画の狙い



- 目的：EVの可能性を通して次世代を担う学生を育成すること
単にクルマ（EV）のデザインだけではなく、社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザインを募集
- 参加資格：18歳以上の学生
(2019年4月1日時点。学校の種類は問わず、2名～6名のチームも可 1校で複数チームも可)
- 一般的なコンペとは違い、制作活動の進捗をSNSを活用して共有する。
- 2019年以降も当コンテストを継続開催し、デザイン→設計→実車製作までを 視野に入れる。

主催: 一般社団法人 電気自動車普及協会

後援: 環境省

(申請予定
50音順)

経済産業省

国土交通省

公益社団法人 自動車技術会

東京都

東京大学 大学院 情報学環

一般社団法人 日本自動車工業会

EVデザインコンテスト実行委員会



- 委員長：山下 敏男
(APEV理事、INTERROBANG DESIGN 株式会社代表、
首都大学東京客員教授)
- 副委員長：有馬 仁志
(APEV理事、有馬マネジメントデザイン株式会社
代表取締役社長、横浜スマートコミュニティ代表)
- 事務局：一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV)

協賛



◆ 1次ご協賛：（50音順）

NTN(株)

カーデザインアカデミー

(株)ツールズインターナショナル

日産自動車(株)

(株)ベネッセホールディングス

丸紅情報システムズ(株)

◆ 2次ご協賛：募集中

審査委員



審査委員長 ■ 中村 史郎 氏 (CEO (株)SHIRO NAKAMURA
DESIGN ASSOCIATES、元日産自動車(株) 専務執行役員)



審査委員 ■ 安藤 忠雄 氏 (建築家、東京大学 名誉教授)



■ 奥山 清行 氏 (工業デザイナー、KEN OKUYAMA DESIGN 代表)



■ 長屋 明浩 氏 (ヤマハ発動機(株)執行役員 デザイン本部 本部長)



■ パトリック・ルケモン 氏 (工業デザイナー、元ルノー副社長)



■ ジャン・ファン 氏 (広州自動車グループデザイン担当副社長)



■ 田嶋 伸博 (一般社団法人 電気自動車普及協会 代表理事)



審査委員メッセージ



◆審査委員長 中村 史郎 氏メッセージ



モビリティは歴史の中で社会と共に常に形を変えてきました。現在私達が直面している地球温暖化などの環境・エネルギー問題は、クルマの電動化を促進し、また渋滞・過疎化・高齢化などの問題には自動運転など新技術の導入が求められています。そしてこれら要素は今後のクルマの使われ方や、そのデザインを大きく変えて行くことでしょう。

このような時代の変化の中で、これからの社会を担う若い世代に、未来をデザインし提案する『場』として、2013年からAPEVにより、EVデザインコンテストが開催されています。

第3回の前回から対象が超小型モビリティ限定から、EV全般へと変更となり、将来のモビリティ社会のあり方や環境へ配慮等、幅広い提案が期待されています。

そして海外含めコンテストの目的に相応しい方々が審査員として参加しており、コンテスト自体も新たな段階へ向かっていることを感じています。

また、このコンテストの特徴のひとつに充実したワークショップがありますので、参加者はコンテストを通じ、デザイン提案力のレベルを一段と向上させることができるでしょう。

デザインが持つ想像力による新しい提案を世界に向けて訴求していただきたいと思います。是非多くの方々の意欲的な参加を期待しています。

審査委員メッセージ



◆審査委員 パトリック・ルケモン 氏メッセージ

我々は輸送交通デザインの新しい時代の入口にいます。電気自動車の大量生産の開始によって、世界中の人々が健康で幸せな生活を送ることができるようになる、そんな時代の幕開けです。

デザイナーは電気自動車が社会に受け入れられることに対し多大な責任を負っていますし、自動車デザインの歴史における新たなページを作成するべく、この特別なチャンスを生かさない手はありません。既存製品の模倣ではなく、知性と魅力の両方を兼ね備えた革新的で全く新しい車の形を提案しなければならないのです。



■略歴

Birmingham Institute of Art and Designにて産業デザイン専攻、卒業後、自動車産業界へ。フォード、フォルクスワーゲン-アウディで国際的キャリアを築き、ルノーではコーポレートデザインの部の上級副社長を務める。

2010年以降は、船舶デザイナーとして活躍。また、2013年には、フランス・リビエラ地方のニースに The Sustainable Design Schoolを共同設立。

国際的な受賞は数知れず、2002年の欧州最優秀デザイナーを初め、各国で年間最優秀デザイナーとして選出される。また、同年にはRaymond Loewy財団よりLucky Strike 年間最優秀デザイナーとして選ばれる。2015年には、アメリカの EyesOnDesign Lifetime Design Achievement（終身デザイン功労賞）受賞。

審査委員メッセージ



◆審査委員 ジャン・ファン氏メッセージ



電気自動車技術が発展し、自動車産業の原動力を根本から変えつつあるインターネットが強い影響力を持つにつれ、革命が起ろうとしています。我々はしっかり未来を見据えて、人類にとって最善のモビリティソリューションを見出さなければなりません。これこそが本コンテストの目的であり、参加者への課題なのです。電気自動車は技術的な解決法（ソリューション）であるだけで、どうしたら適切な方法で電気自動車を活用することができるか、その方法を探ることが全てのデザイナー、特にアイデアや情熱に満ち溢れる若者たちへのタスクとなります。全参加者の最終作品を目にするのを待ちきれません。結局のところ、未来は彼らの手中にあるのですから。

■略歴

中国同済大学にて産業デザインの学位修了後、2002年、清華大学にて輸送デザインの修士号を取得。2003年にメルセデスベンツに就職、8年間、ドイツ、ジンデルフィンゲンにある同社のデザイン本部にて、コンセプトデザインおよびプロダクトデザインに関わる。SL (R231)生産およびコンセプトAクラスのモデルの主要エクステリアデザイナーを務め、また、A-Class (W176)およびSLK (R172) エクステリアの生産を行うなど、様々なメルセデスベンツプロジェクトに関与した。

2011年6月、GAEI(GAC Automotive Engineering Institute)の研究開発部門のデザインディレクターに就任。GACの自社ブランド Trumpchi(传祺)全デザインを統括した。多文化デザインチームが設立され、Flying Dynamics と呼ばれるユニークなデザインの「遺伝子」をGACの全ての新車のために開発した。このデザインチームは、オリジナリティあふれる高品質なデザインを同社製品に活用することに成功し、GACを最も急成長した中国車メーカーの一つに押し上げた。2016年4月以来、同社の副社長、デザイン長

【課題】

ゼロエミッションEVの可能性を最大限に
活用した未来のモビリティと
その社会とのかかわりのデザイン提案
(地上を走る事を基本とする)

【審査方法】

1) 1次審査(20チーム前後を選ぶ)

下記2点の課題を審査する

■ 実際の使用シーンを想定し

(1) ユーザー

(2) インフラ

(3) パッケージング

(4) 新しい技術を駆使し何を実現するのか？を文章や
図・グラフで 説明する

■ 使用シーンを含んだスケッチ（注）：手書き可

■ 1次審査通過チームにはワークショップ1に参加する 権利が与えられる

【審査方法】

2) 2次審査(8チーム程度のファイナリストを選ぶ)

下記2点の課題を審査する

■ 1次審査に同じ

- ・使用シーンを含んだスケッチ^(注)のデータ：
2Dデータ又は3Dデータ

■ 2次審査通過チームにはワークショップ2に参加する権利が与えられる

(注) : スケッチは、外観 (エクステリア) は必須、内装 (インテリア) はオプション

【審査方法】

- 3) ファイナリストは、通知されてから表彰式までの間に、
- (1) ユーザー
 - (2) インフラ
 - (3) パッケージング
 - (4) 新しい技術を駆使し何を実現するのか？
を説明するポスター（B1サイズ1枚）を作成せねばならない

最終審査 & 表彰式



全てのファイナリストは、東京モーターショー会期期間中に東京で行われる表彰式の中で作品のプレゼンテーション(パワーポイントにより5分程度)を行う。

プレゼンテーション結果を含む最終審査により、最優秀賞(グランプリ)を始めとする各賞が決定され、表彰される。

【ファイナリストの作品展示】

全てのファイナリストの作品は、東京モーターショー会期期間中に東京で、ポスター等が展示される

東京モーターショー会期：2019年10月24日(木)～
11月4日(月・祝)

参加資格



- 2019年4月時点で18歳以上の学生
(学校の種類は問わず、2名～6名のチームも可、1校で複数チームも可)
- エントリー費：無料
- 主催者が指定するSNSに登録し、各種案内にタイムリーに回答できること
- 所属する学校の教員がコンテスト参加を承認し、参加者を指導できること
- 応募要項の「注意事項」及び「個人情報の取り扱いについて」に 同意すること
- * 応募作品やコミュニケーションに使用する言語は英語とする
(母国語を併記することは可能)

1) オリジナリティ

アイデアが独創的でコンセプトが明快であり、且つ実現の可能性が感じられる

2) デザイン

時代性・社会性を反映し魅力的である

3) プレゼンテーション力

プレゼンテーションの表現力、説得力が高い

*応募者自身のオリジナル作品で、国内外で未発表であること

賞品



- 最優秀賞 副賞20万円
- 経済産業大臣賞、国土交通大臣賞(副賞各10万円) を申請予定。
- 協賛・協力企業が提供する賞(賞の内容は協賛社により別途決定)
- 東京モーターショー会期中のプレゼンテーション機会
(東京都内で開催予定の最終審査及び表彰式にて)
- トロフィー授与
- コンテスト2019年作品集冊子への掲載

* すべてのファイナリスト (8チーム程度) に与えられる

【参加学生へのメリット】

- コンセプトやデザイン提案力の養成
- キャリア形成と社会に対するアピール
- デジタルツールの活用スキル養成
- デザインが2次使用や商品化される可能性がある
 - ・ 実施例1：2015年のグランプリ作品が協賛社の「未来の駐車場」のコンセプトに採用され、展示会でポスターと動画を展示し、学生が説明した。
 - ・ 実施例2：新聞社発行の「自由研究ヒントブック」に2017年の入賞作品2件が未来の電気自動車の姿として採用され、冊子に掲載された。

日程



2018年9月21日（金）カーデザインワークショップ(済)

2018年10月26日(金)：協賛募集説明会(済)

2018年12月20日(水)：1次協賛応募締切(済)

2019年1月25日（金）13時30分－：記者発表会@福武ホール

2019年2月5日：エントリー開始

2019年4月30日：エントリー締切

2019年5月31日：1次作品提出締切

2019年6月12日：1次審査結果発表

2019年6月下旬：ワークショップ1

2019年8月14日：2次作品提出締切

2019年8月31日：2次審査結果発表

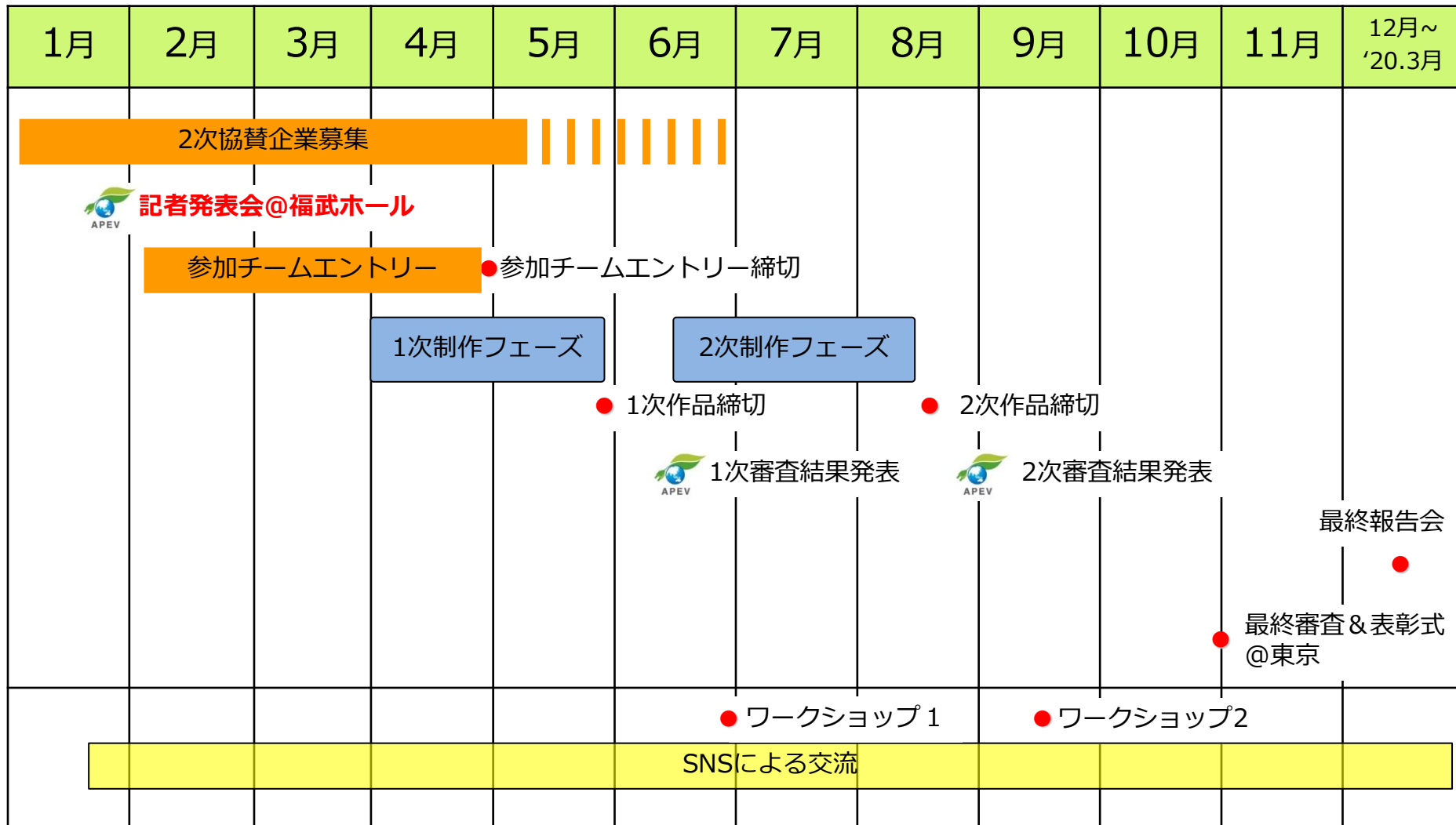
2019年9月中旬：ワークショップ2

2019年10月末～11月初：最終審査と表彰式@東京

2020年2月～3月：最終報告会

※日程は変更の可能性があります

スケジュール 2019年



協賛のお願い

超一流デザイナー、アーキテクトによる評価



単にクルマ（EV）のデザインだけではなく、
社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた
環境デザインを募集

ご協賛パッケージプラン



ご協賛企業様メリット

- デザイン界を担う学生の育成に貢献（人材育成、社会貢献）
- コンテストコミュニティ参加者とのコミュニケーションの場として活用（ニーズの吸い上げ）
- EV普及活動、温暖化防止のため活動している企業・団体であることを内外にアピール

	パッケージタイプ		
	Gold	Silver	Bronze
①コンテストのコミュニティサイトへのバナー掲載	●	●	●
②特設サイト（コンテストオフィシャルサイト）へのバナー掲載	●	●	●
③コンテストのコミュニティサイトへのブログを活用したPR	●	●	
④印刷物（ポスター、チラシ、2019作品集等）への社名およびロゴの掲載	●	●	
⑤コンテスト事例（2次活用）の一部権利のご提供	●	●	
⑥コンテストのコミュニティサイト上での専用メッセージ枠のご提供	●		
⑦企業冠賞の設置と表彰式での授与	●		
⑧表彰式での自社PR展示	●		
金額（消費税別途）	300万円	150万円	50万円

※当会会員企業様とのコンタクトについては、別途、APEV正会員への入会を頂く必要があります。

協賛企業様バナー広告等掲載における基本構成

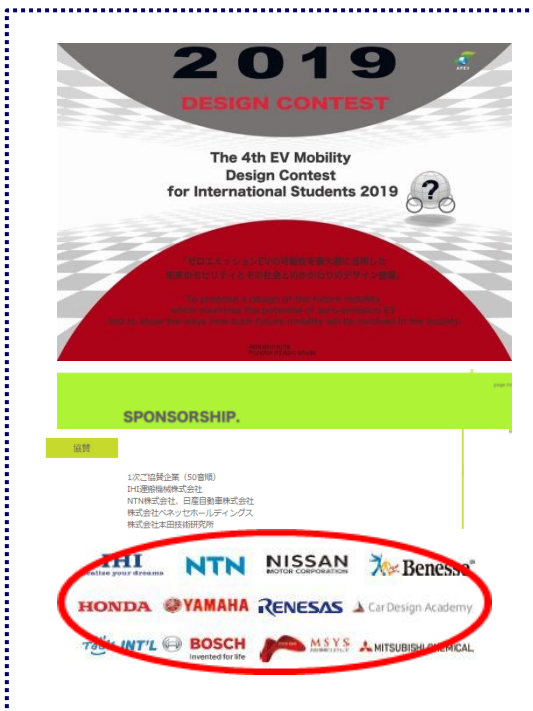


協賛企業様のバナー広告は、原則Webサイトページ内、チラシや作品集等に掲載します。

①オフィシャルサイト
(APEV特設ページ)

②モーターショーチラシ

③作品集 *事後制作。下記は2017年版



表紙&裏表紙



媒体への露出（日本のみ） 前回2017開催の紹介



◆Car Graphic誌 2016年11月号 開催告知



◆Car Styling誌 2016年11月号 開催告知 2017年2月号 ワークショップ 2017年5月号 記者発表会 →



媒体への露出（日本のみ） 前回2017開催の紹介

2016年11月から2017年11月までに

◆ Response : 計6回掲載

◆ Web Car Top : 計2回掲載

◆ 交通毎日新聞 : 計3回掲載



交通毎日新聞 2017年(平成29年)11月9日(木曜日) (2)

ホーム > 自動車 ニューモデル > モーターショー > 記事

2017年11月6日(月) 15時26分

【東京モーターショー2017】国際学生EVデザインコンテスト...最優秀賞は広州美術学院チーム

11月4日、東京モーターショー会場内で電気自動車普及協会（APEV）が主催する「国際学生EVデザインコンテスト2017」の最終プレゼンテーションと賞状、表彰式がおこなわれた。最優秀賞は広州美術学院のチームが獲得した。

11月4日、東京モーターショー会場内で電気自動車普及協会（APEV）が主催する「国際学生EVデザインコンテスト2017」の最終プレゼンテーションと賞状、表彰式がおこなわれた。最優秀賞は広州美術学院のチームが獲得した。

＜東京モーターショー 特別編集＞
東京モーターショー2017は複数個所で開催...富士通デモンストラーションへ...自動運転実...
【東京モーターショー2017】自動運転レベ...

「国際学生EVデザインコンテスト2017」に向けてワークショップ開催

投稿日: 2017年10月8日 TEXT: 青山義明 PHOTO: 青山義明

いいね! | シェア | ツイッター | BI はてブ | Google+

これから来るべき社会の問題をEVとデザインで解決

一般社団法人電気自動車普及協会（APEV）が開催している「国際学生EVデザインコンテスト」。その第3回目のコンテストに関して、先日、中間結果が発表された。

中国チームが最優秀賞獲得

国際学生EVデザインコンテスト結果

電気自動車普及協会（APEV）主催の「国際学生EVデザインコンテスト2017」が、11月4日（月）の東京モーターショー2017会場内で、最終プレゼンテーションと賞状、表彰式がおこなわれた。最優秀賞は中国の広州美術学院チームが獲得した。

「EVが創る社会とデザインの役割」をテーマに行われたシンポジウム

国内外から96チームが応募

新島でEV表彰
小池都知事が紹介

小池都知事が紹介
シンポジウム

小池都知事は、EV普及モデル事業について説明する小池都知事。

小池都知事は、EV普及モデル事業について説明する小池都知事。

媒体への露出（日本のみ） 前回2017開催の紹介



E マガジン 創刊号
2018年12月

一般社団法人電気自動車普及

EV STORY

「国際学生 EVデザインコンテスト」

取材協力：一般社団法人 電気自動車普及協会 <http://www.apev.jp/contest/> Email: contest@apev.jp

最優秀賞
広州美術学院
EV ZERO by Team Triple Six

人口増、渋滞、都市部のスペース問題に対して、建物だけでなく交通も立体化させたいのでは？という提案。審査の講評は「普通は2次元で考える都市交通を3次元で考えたことが素晴らしい。デザインの実用性とはもかく、未来に夢を提案できている点が素晴らしい。かつ魅力的である。車両をレールにどのように結合させるのかなどのディテールの詰めを行ってほしい」

千秋賞
首都大学東京大学院
KUBARU by Team N-DENKI

八丈島の電力ピークカットという課題に、取り外し式のバッテリーでEVや住まいのエネルギーを循環させるという提案。審査の講評は「経済の発展と島の環境を守るという、相反する課題の解決にEVが貢献できるという提案は素晴らしい限り。提案の中にある宅配オペレーターの利便性をもう少し考えてほしい」

入賞作品から見えるEVの可能性

電気自動車普及協会(APEV)が主催する「国際学生EVデザインコンテスト」は「EVの可能性を通じて次世代を担う学生を育成する」ことを目的に、東京モーターショーにあわせて開催されている。2019年度も、1月よりエントリーが開始されるが、ここでは2017年のコンテストについて、審査委員長である中村史郎氏より講評をいただいたので、紹介させていただきます。

「作品を見ていて感じるのは、提案に『課題解決型』と『夢追い型』があるということです。首都大学東京大学院のテーマは、八丈島が抱えている課題に対し

中村史郎 さん
(株) SHIRO NAKAMURA DESIGN ASSOCIATES CEO、日産のチーフ・クリエイティブ・オフィサー時代にマーチ、GT-R、フェアレディZなどのデザインを総括した世界的自動車デザイナー。国際学生EVデザインコンテストでは審査委員長を務める。

てEVがどう貢献できるかという具体的な提案が大変面白い。対して広州美術学院(中国)の作品には「将来こうあってほしい。という夢を感じます」

「最近ではイタリアやインドの学生など海外の学生もコンテストに参加されています。日本の学生は社会的な問題に直面から取り組んで素晴らしいです。ただ「EVの新しい夢。のような部分もない、環境や社会問題に対する単なる解決手段になってしまいます。課題解決に加えて「EVだと今までになかったものが生まれる!。という夢のある要素が加わると、審査をしても楽しいですね」

前回2017開催の紹介



国際学生EVデザインコンテスト2017

- ◆ 1次ご協賛：IHI運搬機械(株)、NTN(株)、日産自動車(株)、
(株)ベネッセホールディングス、(株)本田技術研究所、
ヤマハ発動機(株)、ルネサス エレクトロニクス(株)
- ◆ 2次ご協賛：Nori,inc.カーデザインアカデミー、
(株)トゥールズインターナショナル、ボッシュ(株)、
丸紅情報システムズ(株)、三菱ケミカル(株) (50音順)



◆ 応募:34校96チーム(2015年並)

内訳：日本20校45チーム、海外15ヶ国14校51チーム

* 海外の国別参加数：台湾5校18チーム、イタリア2校13チーム、
インド1校5チーム、中国4校4チーム。

以下 1校1チーム：アメリカ、イギリス、ウガンダ、オーストラリア、
カタール、カナダ、スペイン、スリランカ、チュニジア、フィリピン
UAE

◆ 1次審査通過:16校23チーム

内訳：日本9校12チーム、海外8ヶ国7校11チーム

* 海外国別：2校2チーム=中国

1校2チーム=イタリア、インド

1校1チーム=フィリピン、チュニジア、ウガンダ、イギリス、
台湾

◆ 2次審査通過チーム

(学校英文名アルファベット順)

[国名]	[学校名]	[チーム名]
Japan	産業技術大学院大学	ebi-P
Philippines	Car Design Academy	Team Hope
Uganda	Car Design Academy	Magnitude
Japan	千葉工業大学	SAL
China	Guangzhou Academy of Fine Arts	Triple Six
Italy	IAAD	LE-ON
Japan	名古屋市立大学	GoL
India	National Institute of Design	Team EV India
Japan	東京コミュニケーションアート専門学校	KIM HYEON SU
Japan	首都大学東京大学院	N DENKI

ワークショップ実施-1 前回2017開催の紹介



- ◆ 現役デザイナーによるワークショップ（WS）を2回実施した
1次審査及び2次審査を通過した参加チームの学生が対象の1日コース
* 協力ご協賛：ヤマハ発動機(株)、ルネサス エレクトロニクス(株)、
Nori,inc.カーデザインアカデミー、(株)トゥールズインターナショナル、
ボッシュ(株)、丸紅情報システムズ(株)、三菱ケミカル(株)
- ◆ WS 1：8校10チーム
'17年7月1日(土) @東京都渋谷区 café 1886 at Bosch



学生のプレゼンテーション



山下実行委員長によるスケッチレクチャー

ワークショップ実施-2 前回2017開催の紹介



- ◆ WS2 : '17年9月24日(日) 5校5チーム @東京都港区The Gallery Too (株)トゥールズインターナショナル本社内)



← 相談風景

全員写真

◆ 最優秀賞グランプリ 副賞20万円


◆ 経済産業大臣賞 副賞10万円

◆ 国土交通大臣賞 副賞10万円

◆ 冠賞

● NTN賞



● カーデザインアカデミー賞  Car Design Academy

● ボッシュ賞



BOSCH

Invented for life

● 三菱ケミカル賞



MITSUBISHI CHEMICAL

国際学生EVデザインコンテスト2017 最終審査&表彰式@東京モーターショー



最終審査 プレゼンテーション



国際学生EVデザインコンテスト2017

表彰式@東京モーターショー



グランプリ；中国広州美術学院



経済産業大臣賞；千葉工業大学



国交大臣賞/ボッシュ賞；首都大東京



NTN賞；産業技術大学



カーデザインアカデミー賞；
インド国立デザイン学院



三菱ケミカル賞；名古屋市立大学

国際学生EVデザインコンテスト2017 最終審査&表彰式@東京モーターショー



審査委員講評



中村審査委員長



奥山審査委員



長屋審査委員

国際学生EVデザインコンテスト2017 最終審査&表彰式@東京モーターショー



全員記念写真



Photo: Hayato Furusho

国際学生EVデザインコンテスト2017 最終審査&表彰式@東京モーターショー



東京モーターショーシンポジウム

シンポジウムに先駆け、横川 浩（日本陸上競技連盟会長,APEV会長）より挨拶があり、キーノートスピーチとして「ゼロエミッションアイランドを目指して」と題して小池百合子氏（東京都知事）が東京都のEV普及施策（特に島しょ部での実証実験）について、ご自身の体験も交えて話されました。



横川会長



小池都知事



国際学生EVデザインコンテスト2017 最終審査&表彰式@東京モーターショー



最終審査と表彰式の動画をYoutubeにアップしました

◆和文

1)午前前半：最終作品発表と交流の議論

<https://www.youtube.com/watch?v=13l6I3LW9gM&t=33s>

2)午前後半：表彰式

<https://www.youtube.com/watch?v=7kKlwFHbMWw&t=2195s>

3)午後前半：横川会長挨拶と小池都知事キーノートスピーチ

<https://www.youtube.com/watch?v=E-IHm6o11Y>

◆英文

1)Morning session 1 : Final presentation/Discussion about interaction

<https://youtu.be/AUMUs9-EZNA>

2)Morning session 2 : Award Ceremony

<https://youtu.be/lh-FmljtzlA>



国際学生EVデザインコンテスト2017 最終審査&表彰式@東京モーターショー



東京モーターショーシンポジウム

「近未来の展望（～2050年）・EVが創る社会とデザインの役割」

2025年～2030年に向けたEV化への波を受け自動車業界の環境は激変していく事が予測される。そう遠くない未来である2050年を21世紀前半の区切りとして、社会と車そして人々の生活の有様を「産業」「生活」「カーデザイン」「デザイン教育」4つの視点から考察して頂きました。



山下実行委員長、長屋&奥山審査委員、中村審査委員長

END

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします



一般社団法人電気自動車普及協会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

－ お問い合わせ先 －

一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV) 内
EVデザインコンテスト 事務局 安嶋 (やすじま)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール
TEL : 080-4630-8325 FAX : 050-3153-2686
E-mail : contest@apev.jp Website : <http://www.apev.jp/contest/>